

新美南吉記念館だより

NIIMI NANKICHI MEMORIAL MUSEUM NEWS

発行 新美南吉記念館 〒 475-0966 愛知県半田市岩滑西町 1-10-1 TEL0569(26)4888 <http://www.nankichi.gr.jp>

日中韓子ども童話交流2013

八月十七日から二十三日まで、日本、中国、韓国の小学校高学年の児童百名が参加して、「日中韓子ども童話交流2013」が開催されました。絵本や童話を通して読書の楽しみを知ってもらうとともに、種々の活動や創作絵本の制作などを通して三か国の文化の共通点や違いを知り相互の友情を深めようというものです。二十日(火)には、新美南吉のふるさと半田市岩滑を訪れ地元の小学生と交流しました。



▲ 南吉の生家の前で、自分たちで描いた絵を見せながら南吉の生い立ちについて説明する半田市立岩滑小学校の児童と、話に聞き入る日中韓の子どもたち。

この事業は、子どもたちの健全な育成をめざして設置された「子どもゆめ基金」の

活動の一環として行われているもので今年で十一回目です。今回は、東京と愛知が開催場所選ばれ、生誕

百年を迎えた新美南吉のふるさと半田市岩滑にも訪れることになりました。

当日の朝、百名の子どもたちを迎えたのは南吉の母校岩滑小学校の六年生児童約八十名。各学年で「南吉学習」に取り組んでいる岩滑小では、六年生になると「南吉案内人」として下級生や他校の子どもたちに岩滑にある南吉ゆかりの場所を案内する活動に取り組みます。今年は「日中韓子ども童話交流」に参加する子どもたちを案内するつもりで、日中韓の子どもたちが、グループごとに、南吉の家や岩滑八幡社や光蓮寺などのスポットを歩いて廻ると、岩滑小の児童がそれぞれ場所で待ち受けて説明しました。みな熱心に聞き入っていました。

午後は、岩滑小の児童も



一緒に雁宿ホール(半田市福祉文化会館)に移動して、「南吉を知る会」が行われました。アニメ「ごんぎつね」を観賞したり、当館の学芸員から南吉の話を聞いたりして「南吉の夢」について考える機会にしました。また自分たちで絵を描いて作った缶バッジを交換する姿も見られました。最後に全員で南吉の童謡「明日」を合唱して(右写真)、日中韓の子どもたちは半田を後にしました。

この後宿舎で、これまでの活動やその思い出をもとに絵本づくりに取り組んだ日中韓の子どもたち。南吉やごん吉くんが登場する作品もあり、彼らの心に南吉や南吉作品が残っていることが感じられました。

夏休み南吉童話
読み語り



八月十日から九月一日の毎週土、日曜日に、南吉記念館の図書室で「夏休み南吉童話読み語り」の会を行いました。

生誕祭初日（七月二十七日）に開催された「ことばの杜朗読会」に出演した、市内小学校児童の中から有志数名と、読み聞かせボランティア「きりんの会」のメンバーとが参加して行われたものです（右写真）。子どもたちは会場に集まった人たちを前に少し緊張しながらも、半年かけて練習した朗読を披露しました。南吉作品の紙芝居や絵本の朗読に、集まった人たちも楽しみに耳を傾けていました。

南吉さんと詩を楽しむ会

八月十一日（日）、「南吉さんと詩を楽しむ会」という行事を行いました。

参加したのは親子など三十三名。初めに南吉の詩「球根」を題材に音読したり、好きな一行に線を引いて読み合ったりしました。次にとりあげたのは「天国」です。内容に合わせて、子どもがお母さんに負ぶさって朗読したり、「天国」の絵を描いたりしました。詩の朗読を聞いてタイトルを当てるクイズもあり、いつもとは違う詩の楽しみ方を体験した参加者たち。大人も子どもも一緒になって取り組んでいました。



▶ 講師の新美亜希子さん（詩人／右端）と参加者

長野ヒデ子講演会（第27回新美南吉顕彰講演会）

「南吉と私」 ～絵本の力と紙芝居の力～

現在、半田市立博物館で企画展「『狐』長野ヒデ子絵本原画展」を開催しています。それにちなんで絵本作家長野ヒデ子さん（右写真）を講師にお招きし、南吉作品への思いや、長野さんがこれまでに手がけてこられた絵本や紙芝居についてお話しいただきます。



●長野ヒデ子氏
プロフィール●

絵本作家。昭和16年愛媛県生まれ。美しい瀬戸内海を見て育った。『狐』（偕成社）のほか、『せとうちたいこさんデパートいきタイ』（日本絵本賞／童心社）、『おかあさんがおかあさんになった日』（産経児童出版文化賞／童心社）等多数の絵本を手がけている。

日時：平成25年9月23日（月・祝）
13：30～15：00（予定）
場所：半田空の科学館（半田市桐ヶ丘4-210）
プラネタリウムホール
入場料：無料
申込み：申込みは不要ですが、来場者多数の場合は入場制限をする場合もあります。
問い合わせ：新美南吉記念館 TEL 0569(26)4888

記念館からのお知らせ《9月》

秋の夕暮れ、記念館周辺では多くの虫の音を聞くことができます。鳴く虫についてのお話を聞いた後、外へ出て虫の音を聴きます。

日時 10月14日（祝）
17時～18時30分

集合場所 記念館工作室

定員 24名（先着順）

対象 どなたでも※小学生以下は保護者が同伴のこと

講師 相地 満氏

参加費 無料

申込み 9月21日（土）、

9時30分から電話でお申し込みください。
※1件の申込みは5名まで

特設「幻の童話」部門

第25回新美南吉童話賞

創作童話を募集しています。南吉生誕百年の今年、通常部門に加えて、南吉が遺した童話の構想や題材メモを基にストーリーを創る「幻の童話」部門を設けて作品を募集しています。※詳細は、市内公共施設で配布している募集要項、記念館だより（第166号）、

当館HPをご覧ください。

特別展「新美南吉と

ふるさと知多半島」

南吉生誕百年を記念して、南吉のふるさと知多半島を、自然、生業の中の芸と技、方言など多様な視点から取りあげ南吉文学との関わりについてご紹介しています。

会期 10月27日(日)まで
場所 記念館常設展示室

観覧料

高校生以上210円

【関連行事】10月12日(土)、13時30分から、学芸員が特別展を解説するミュージアムトークを行います。

展示室ガイド

ガイドボランティアが常設展示室をご案内します。

実施日 毎週土、日曜日、祝日、振替休日

ガイドが待機している時間
午前 10時30分～12時30分
午後 13時30分～15時30分

※申込みは不要。ガイドできない日もあります。

以上の事業・行事へのお問い合わせ、お申込みは新美南吉記念館まで。

TEL0569(26)48888

●記念館主催の事業ではありませんが情報をお知らせしているものを紹介します

合唱オペラ「ごんぎつね」

「ごんぎつね」をもとに詩人の村田さち子さんと作曲家池辺晋一郎さんによって創られた合唱オペラです。

日時 10月12日(土)
18時30分開演※30分前開場
10月13日(日)

会場 雁宿ホール

出演 鳴海卓、内田由美子、大橋多美子、井原義則、ごんぎつね合唱団 ほか

入場料(前売り)
一般 3000円
中学生以下 1500円

※未就学児入場不可
チケット販売場所 新美南吉記念館、雁宿ホール、ごんぎつね合唱団員

問い合わせ 合唱オペラ「ごんぎつね」上演実行委員会事務局・柴田式子

TEL080(3286)8641

日誌抄

六月(水無月)

▽1日 第25回新美南吉童話賞募集スタート(9月17日)▽14日 ニッキン新聞「ちよつと一言」に当館館長が取りあげられる▽17日 毎日新聞「インタビュールーム」欄に地元の南吉研究家大石源三氏を取りあげられる▽19日 朝日新聞教育欄に草稿「権狐」が取りあげられる▽27日 造幣局が貨幣セット「手ぶくろを買いに」を発売▽29日 大阪日日新聞「旭堂南陽のブラリ講談歴史あるき」に生誕百年「新美南吉の巻」が連載される(7月6日、13日)

七月(文月)

▽2日 知多半島全郵便局で南吉のオリジナルフレーム切手が発売される▽3日 中日新聞が『良寛物語 手毬と鉢の子』を発売▽6日 中日新聞「あいち現場考」に「南吉生誕百年」に関する記事が掲載される▽11日 貨幣セット「手ぶくろを買いに」が造幣局から寄贈される▽13日 新美南吉生誕百年記念特別展「新美南吉とふるさと知多半島」スター

ト。於南吉記念館常設展示室(10月27日)▽14日 ミュージアムトーク。於記念館常設展示室。28名参加▽17日 半田市が画家黒井健氏に依頼して制作された新作2点が市に引き渡される▽18、20日 毎日新聞に「南吉童話絵本原画展」に関する記事が連載される▽20日 「南吉童話絵本原画展」スタート。於雁宿ホール講堂(8月4日)▽同日 半田市立博物館で新美南吉生誕百年記念企画展「『狐』長野ヒデ子絵本原画展」スタート(10月20日)▽24日 聖教新聞「創作の泉」欄に新美南吉記念館が取りあげられる▽25日 JFEスチール知多製造所(半田市)が記念館に「ごんぎくん」オブジェを寄贈、除幕式を行う▽27日 新美南吉生誕百年記念生誕祭開幕(8月4日)於雁宿ホール、新美南吉記念館▽同日 生誕祭開幕式典及び「ことばの杜朗読会『読み語り』南吉と出逢う」開催。於雁宿ホール大ホール。1159名参加▽同日 記念館無料開放▽28日 新美南吉生誕百年記念「市民音

楽祭」開催。於雁宿ホール大ホール。1096名参加▽同日 「あつまろうみんなの南吉展」開催。於記念館及び矢勝川。1614名参加。記念館無料開放▽同日 ミュージアムトーク。於記念館常設展示室。32名参加▽同日 読売新聞「HONライン倶楽部」に新美南吉が取りあげられる▽30日 新美南吉生誕百年記念誕生日式典開催。於記念館。955名参加▽同日 記念館無料開放▽同日 中日新聞「中日春秋」に南吉が取りあげられる▽31日 読売新聞(夕刊)に新美南吉の新刊本に関する記事が掲載される

〈9月の休館日〉
2日(月)、9日(月)
10日(火)、17日(火)
※16日(月)は祝日のため開館、24日(火)、30日(月)は彼岸花シーズンにつき臨時開館いたします。

〈10月の休館日〉
7日(月)、8日(火)
15日(火)、21日(月)
28日(月)
※14日(月)は祝日のため開館いたします。

ごんの秋まつり 開催!

9月20日(金)～10月20日(日)

9月末から10月初旬にかけて記念館近くを流れる矢勝川の堤は200万本の彼岸花で真っ赤になります。新美南吉生誕100年の今年は、彼岸花イベント「矢勝川堤の彼岸花」(9月20日～10月6日)を含む9月20日(金)から10月20日(日)までの約1か月間にわたり「ごんの秋まつり」を開催します。

● 矢勝川堤の彼岸花

「イベント期間」

9月20日(土)～10月6日(日)

「南吉童話」街頭紙芝居やさん

矢勝川堤を移動しながら紙芝居を上演します。

開催日 9月21日(土)、22日(日)、23日(祝)、28日(土)、29日(日)、10月5日(土)、6日(日)

上演 きりんの会

新美南吉のふるさと散歩

ボランティアガイドとともに、南吉や「こん狐」にゆかりの場所を巡る文学散歩です。

日時

9月28日(土) 9時30分出発

10月5日(土) 9時30分出発

集合場所 名鉄半田駅

コース 半田駅～南吉生家～常夜灯～岩滑八幡社～常福院～光蓮寺～半田市立岩滑小学校～南吉記念館(解散)

定員 各回15名(計45名)

参加費 無料

申込み 新美南吉記念館にお電話ください。

TEL 0569(26) 4888

※半田駅付近には駐車場はありません。

◇ 駐車場連絡シャトルバス

彼岸花イベント期間中、新美南吉記念館の駐車場が使用できません。臨時駐車場となる半田運動公園に駐車し、シャトルバスをご利用ください。ただし障がい者の方(障がい者手帳により確認)は駐車できません(事業所は除く)。

運行時間

半田運動公園内ロータリー

始発 9時30分

新美南吉記念館

最終発 17時45分

30分間隔で発車、混雑時は増発

料 金1回(片道) 100円

◇ 半田巡回バス

同期間中、名鉄知多半田駅を起点に市内の主な観光スポットを結ぶ巡回バスを運行します。

運行時間(知多半田駅発)

9時20分～17時30分(バスは60分に1本の割合で巡回)

乗車料金/一回乗車券

大人 200円(小人は半額)

一日乗車券

大人 300円(小人は半額)

運行ルート 名鉄知多半田駅

→南吉の生家→新美南吉記念館→南吉の墓→図書館・博物館前→半田赤レンガ建物→酢の里→名鉄知多半田駅(着)

シャトルバス、巡回バスについての問い合わせは知多乗合(株)まで。

TEL 0569(21) 5234

● ごんの秋まつり

後半のイベント

ランプの灯りコンサート

虫の音色や素敵な音楽を聴きながら秋の夜長を楽しみます。この2日間は記念館も夜間臨時開館します。

日時 10月12日(土)、13日(日) 18時30分～20時

場所 新美南吉記念館

※記念館は20時30分まで開館

主催 半田商工会議所創立120周年記念事業実行委員会・新美南吉生誕百年記念事業実行委員会

新美南吉の謎解き宝探し

～半田に眠る宝を探せ～

日時 10月14日(月・祝) 10時～16時

場所 新美南吉記念館など

内容 ・せせらぎや童話の森などに隠れている謎を解いて南吉の里に眠る宝を探そう

・劇団アウトサイダーによる劇「ごんぎつね」と大抽選会

● ごん横丁(ごん焼き、産直野菜の販売、輪投げなど)

主催 新美南吉生誕百年記念事業実行委員会

主管 半田商工会議所青年部

南吉つあんの山車揃え

～童話「狐」の世界～

岩滑・岩滑新田地区の山車4輛が新美南吉記念館に集結。三番叟、神子舞上演など童話「狐」の世界を再現します。

日時 10月19日(土) 10時～19時(雨天翌日順延)

場所 新美南吉記念館、岩滑・岩滑新田地区

主催 新美南吉生誕百年記念事業実行委員会、同山車揃え協議会

※当日は記念館駐車場は使用できません。詳細は専用チラシをご参照ください。

以上のイベントについての問い合わせは新美南吉記念館へ。

TEL 0569(26) 4888

※彼岸花の開花情報は、新美南吉顕彰会のホームページをご覧ください。

<http://nankichi.org/>